

第2回 退院支援・医療介護連携部会報告書

日時	平成29年5月16日(火) 19:00~20:45	
場所	高松市医師会館 2階大会議室	
出席者	■ 吉澤委員長 ■ 松本部長 ■ 青木委員 □ 片山委員 ■ 木村委員 ■ 多田委員 ■ 田中委員 ■ 辻委員 ■ 永岡委員 ■ 坂東委員 ■ 古川委員 ■ 三宅委員	11名
事務局	高松市医師会事務局 山地係長、真鍋氏 長寿福祉課 地域包括ケア推進室 徳重室長、香川室長補佐、山崎	5名
議題	1 第1回 退院調整・打ち合わせ会の開催について 2 入退院調整ルール・多職種連携ルールの策定と運用マニュアルの作成 3 今後のスケジュール	
結果	<p>1 第1回 退院調整・打ち合わせ会の開催について</p> <p>◆開催日:平成29年6月25日(日)9:30~12:30</p> <p>◆開催場所:高松市医師会館</p> <p>◆参加者:医師、地域連携室担当者、在宅医療コーディネーター(第1・2回受講者)、訪問看護師、ケアマネジャー等</p> <p>◆募集方法:医師会から関係機関に直接送付及び委員の職域より各10名程度。</p> <p>◆募集期間:5月末~6月16日(金)までの予定。</p> <p>◆プログラムの概要</p> <p>①事例検討</p> <p>○事例内容:多職種連携(訪看)の事例 田中委員より、事例紹介がある。</p> <p>○検討したい内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種が関わるようになった経緯(時系列で) ・うまくいった理由及びきっかけやそこに至るまでに苦労した点 ・各職種間の連絡方法と緊急時の対応 ・一週間の割り振りや全体の流れと各専門職の役割分担 ・情報共通ツールの使い方 ・血糖コントロールの方法 ・介護職が緊急時をどの様に見分けているのか ・コーディネーションの実情 ・自己決定の言葉 <p>○検討メンバー</p> <p>司会 田中委員 事例提供 訪問看護こくぶ 安部 NS</p> <p>検討メンバー 三宅委員、ケアマネ:社協、ヘルパー:社協、デイサービス:灯り 薬局:ゆうあい薬局、歯科:山下歯科、在医コーディネーター:さつき荘小西ケアマネ</p> <p>②入退院支援ルール・多職種連携ルールの策定と運用マニュアルの作成に関する事項</p> <p>◆今後の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月中に事例をまとめ、田中委員→松本委員に連絡。 	

・各職能団体から検討メンバーにアポを取る。

2 入退院調整ルール・多職種連携ルールの策定と運用マニュアルの作成

◆入退院調整及び多職種連携の現状把握(アンケートの実施)

アンケート内容(案)

①医師・歯科医師対象

・HPの種類により3種類ほど作成、歯科は医師向けのものをアレンジして使用予定。

②退院調整の実情(ケアマネジャー)

・包括も含めて調査し、ケアマネの協議会で取りまとめる。

③薬剤師対象

・どのような問題があるか、薬剤師会で再検討。

④リハビリテーション(PT・OT・ST)対象

・連携が医療→介護でスムーズでない現状あり、5月末の理事会にて承認をもらい調査。

⑤介護サービス事業所対象

・函館市や東京の調査をもとに作成。老施協所属29か所の各サービス宛てにメールにて調査する。(項目はもう少し絞ってもよいかも)

⑥その他

<訪看>各訪看より継続看護連絡票を提出いただき、より良いものに変更していきたい。

◆今後の進め方

・それぞれの団体で再検討

・明日の連携会議で報告

・6/20(火)までに(案)をまとめる

3 今後のスケジュールについて

◆退院支援・医療介護連携部会の開催

次回は6月20日(火)。7月は7月20日(木)に予定変更。